

平成24年度
実施事業

事務事業名	登別市起業化支援事業補助金
-------	---------------

区分	No	名称
章	3	大地に根ざしたたくましい産業が躍動するまち
節	1	活気に満ちた魅力あふれる産業をつくる
施策	2	域内経済循環の基礎となる複合的産業基盤の形成
小分類	2	多様な分野の交流・連携による新たな産業の創出
主要な施策	1	①創業活動の支援
事務事業番号	001	事業開始年度 平成 15 年度 事業終了年度 平成 - 年度 会計種別 一般会計

部 名	観光経済部	グループ名	商工労政グループ
-----	-------	-------	----------

事務事業の概要 《Plan・Do》

目的	(事務事業の実施目的を具体的に記入してください)
	市内における起業を支援することにより、地域経済の活性化を図ることを目的とする。
事業内容及び実績	(事業内容及び平成24年度の実績を具体的に記入してください)
	<p>新たに事業を行う者が、地域の資源や技術を活用した新たな地場産業の創出、新たな技術の事業化、新たなサービスの提供等を行う際に要する経費の一部を補助する。</p> <p>【事業内容】 補助率 2分の1 補助上限額 300万円</p> <p>【事業実績】 補助件数なし</p>
今後の方向性	(次年度以降の事業展開における改善など今後の方向性を具体的に記入してください)
	市内における起業を促進し、地域経済の活性化を図るため、今後も引き続き、地域資源を活用して新サービスの提供などを行う起業家を対象に補助金を交付する。
根拠法令等	(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称を全て記入してください)
	<ul style="list-style-type: none"> 登別市起業化支援事業実施要領 登別市起業化支援事業補助金交付要綱

事業費（財源内訳）の推移 《Plan・Do》

区分		単位	H23年度 決算	H24年度 決算	H25年度 当初予算	H26年度 見込	H27年度 見込
国庫支出金	名称	千円					
道支出金	名称	千円					
地方債	名称	千円					
その他	名称	千円					
一般財源	名称	千円	0	0	3,000	3,000	3,000
事業費 合計			0	0	3,000	3,000	3,000

指標の推移 《Check》

区分		単位	区分	23年度 実績	24年度 実績	25年度 目標	26年度 目標	27年度 目標
成果 指標	① 起業化計画申請件数	件	目標値	2	2	2	2	2
			実績値	0	0			
	② 起業化計画認定件数	件	目標値	2	2	2	2	2
			実績値	0	0			

比較		《Check》
平成24年度実施以前又は実施中に見られた課題、問題点等	左記の解決に向け行った取組や対策、工夫等	
<input type="radio"/> 課題等 ・起業に係る相談は数件あるものの、申請までに至らない状況となっている。	<input type="radio"/> 対策等 ・これまでの広報紙やホームページでの周知に加え、商工会議所、中小企業団体中央会、金融機関等に対して、制度の周知や起業家から本制度の申請等に関する相談があった場合の対応などについて協力を依頼する。	

担当グループによる事務事業評価の内容（複数回答可） 《Check》

1. 事務事業の妥当性について		
市が事業主体として実施していくべき妥当性の高い事業ですか？	<input type="radio"/> ① 市が主体に行うべき事業である	判断理由及びその他所見 市の補助制度は維持しつつ、登別商工会議所等との連携を図ることにより役割分担し、国や北海道との支援事業も活用する。
	<input type="radio"/> ② 民間(事業者、市民団体等)でも実施可能である	
	<input type="radio"/> ③ 国、道、他団体等との連携や広域化が可能である	
	<input type="radio"/> ④ 国、道、民間等の事業と重複・類似している	
2. 事務事業の必要性について		
市民ニーズの状況等から勘案して、必要性の高い事業ですか？	<input type="radio"/> ① 市民、団体等から具体的な要望がある	判断理由及びその他所見 地域経済活性化のためには、地域資源を活かした新たな事業やサービスの創出が不可欠であり、これらの支援として補助事業を行う必要性は高い。
	<input type="radio"/> ② 市民アンケートの結果から必要性が高い	
	<input type="radio"/> ③ 社会情勢、地域事情等から必要性が高い	
	<input type="radio"/> ④ 市民の大部分が関連することから必要性が高い	
3. 事務事業の効率性について		
事業内容とコスト(事業費)のバランスがよい効率性の高い事業ですか？	<input type="radio"/> ① 低予算、少労力で高い効果をあげている	判断理由及びその他所見 起業自体は、当事者にとって大変リスクの大きいものであり、地域経済の活性化を図るため、それらへ支援することについては、やむを得ないものである。
	<input type="radio"/> ② 市で実施するほうが民間委託より効率性が高い	
	<input type="radio"/> ③ 多額の経費や労力を要するがやむを得ない	
	<input type="radio"/> ④ 将来的に効率性を向上できる	
4. 事務事業の成果について		
目的を達成するための成果はあがっていますか？	<input type="radio"/> ① 成果指標の向上が見られる	判断理由及びその他所見 これまでに4件の補助金交付実績があるが、そのうち3件は現在も営業を続けている。とりわけ1事業者については、登別ブランド推奨品を多数認定される等、登別の顔として活躍している。
	<input type="radio"/> ② 市民、団体等の声から成果を感じられる	
	<input type="radio"/> ③ 目に見える形で成果があがっている	
	<input type="radio"/> ④ 成果の把握は困難である	

①担当グループによる評価 《Check》

維持	左記の評価を選択した具体的な理由(根拠)	新たな創業や異分野事業への進出に対する支援は、地域経済の活性化・雇用の拡大効果が見込まれるため継続するが、その性質上、事業者と市側の双方に相応のリスクが伴うことから、いたずらに要件緩和せず、積極的な活用促進を図るため、広報等の周知や関係機関との連携強化により支援する。
-----------	----------------------	--

②行政評価会議による評価 《Check》

維持	備考
-----------	----

③総合的な評価(当該事務事業の方向性) 《Action》

維持	備考
-----------	----

〔評価区分〕

- ◆拡大(事務事業の目的を達成するために事業の規模や経費の大幅な変更が必要な事業)
- ◆維持(事業内容の根幹にかかわる部分については変更せず、不断の点検・検証による効率的な経費の活用や軽微な見直しを行い、継続的に実施する事業又は、事業計画等で予め年次的に実施する事業内容等を定めており、実施年度によって経費や実施個所等に変更が生じる事業)
- ◆改善(当該事業の目的を達成するために、現状の手段や経費、事業の方向性等、事業の根幹に関わる部分について見直す事業)
- ◆休止(暫定的に休止する事業)
- ◆廃止(事業の開始当初から目指していた成果が得られたなど、目的が達成された事業)
- ◆終了(事業の開始当初から予定していた事業期間が終了した事業)